

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：浦和西高斜面林友の会

22A-34

代表者：代表 齋藤和夫

URL : <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>

1. 活動が必要とされた状況

見沼代用水の縁にある斜面林は、人々の生活と密接に結びついて維持管理されていたが、時代と共に放置され荒廃が進み、また民有地は開発されて雑木林が消滅しています。そこで県有地である浦和西高の斜面林を美しい雑木林として残そうと思いました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

毎月第2土曜日	午前9時30分～12時		
1月12日	24名	常緑樹の刈り取り	(雪がちらつく)
2月9日	13名	枯れ枝の片づけ	作業後 おしるこ会
3月9日	26名	アズマザサの刈り取り	見沼たんぼクリーンウォーク参加
4月13日	33名	〃 枝の片づけ	西高生3名参加
5月11日	24名	〃 〃	懇親会開催
6月8日	34名	雑草刈り 赤松の移植	藪蚊が多い
7月13日	32名	さつまいも畑の草刈り	大きいムギに西高生嬉しいがる
8月17日	25名	倒木の処理	西高文化祭用「合格祈願わら馬」の袋詰め
9月7日～8日		西高文化祭に参加「合格祈願わら馬」を配布	パネル展示
9月14日	21名	枯れ枝の回収	
10月12日		台風接近のため中止	
11月9日	36名	斜面林に腐葉土をまく	焼き芋大会
12月14日	29名	落ち葉を集めて堆肥場へ	収穫祭を開催



常緑樹の刈り取り



太い枝は細かくする



焼き芋まだかな

3. 活動の成果

活動開始から15年あまりが経過し、やっと里山の雑木林に近付きました。林床に日の光が差し込むようになり、多くの野の花が戻ってきました。西高の斜面林は照葉樹主体の林から落葉樹の林に変わり、四季の変化も楽しめるようになり、代用水沿いの散歩道を行き交う人々を和ませています。

4. 今後に残された課題

里山の保全是自然が相手なので継続していくことが重要です。そのためには会勢を維持、発展させていかねばなりません。若年層、壮年層の新規加入に努めることや、より多くの西高生に参加を呼びかけることなどが今後の課題です。